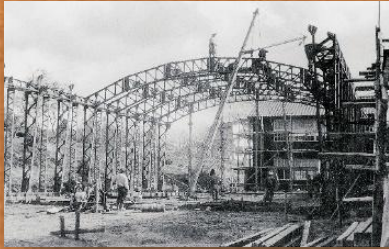


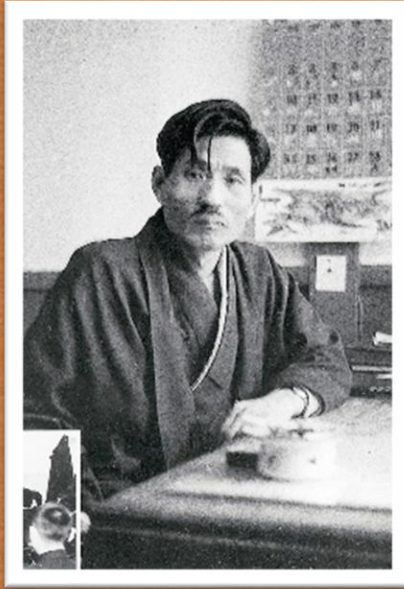
星稜高等学校創立記念日



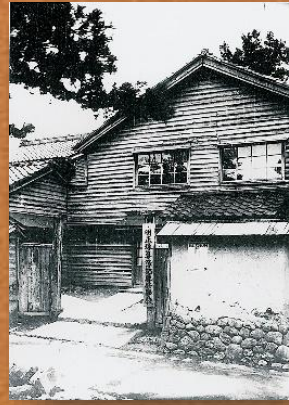
昭和 38 年の星稜高等学校



昭和 37 年
実践第二高等学校校舎建設



初代 稲置繁男理事長



北陸明正珠算簿記専修学校



金沢商業女学校



指定帽子着用頃の男子の通学様子
(金腐川堤防上)



実践商業高等学校

昭和初期の社会情勢は、不況の時代で技術を手に付けていないと就職の困難な時代でした。金沢でも手に技術をつける学校が必要とされていました。そんな時に京都にいた初代理事長の稲置繁男先生が金沢で私立の学校を開設したのです。当時二十三歳でした。しかし学校とは言っても、初年度の入学者は昼間部二名・夜間部六名の小さな学校の出発でした。昭和七年の十月五日のことです。これが今日の創立記念日の由来です。この学校の校訓が「至誠を源とし、忠実を体とし、進取を用とすべし」というもので、星稜高等学校の建学の精神の源です。星稜高等学校の設立母体は稲置学園です。この学園は昭和七年に石川県から認可を受けた「北陸明正珠算簿記専修学校」をその始まりとしています。学校はしだいに発展して行き稲置繁男校長の教育方針としてもと男女共学であったのですが、昭和十九年四月、文部省の方針として、男子生徒は工業技術面に駆り出されることとなり、商業を教えるこの学校は女子生徒のみの学校となってしまいました。それで「金沢商業女学校」と名前が変わりました。この学校の最初の入学式で、稲置繁男校長は

＊第一に至誠の人であってほしい。
＊第二に実用的技術の腕を徹底的に磨いてほしい。
＊第三に生活一般に積極的意欲的な姿勢と気持ちをもって進んでほしい。

と訓示しました。やがて学制改革が行われ、新制高等学校の時代となりました。



星稜高校の周辺には、広大な
はす畑が広がっていました。



平成 12 年頃の星稜高等学校

高等学校としての誕生

まず働く青年の技術習得の目的で、昭和 25 年、定時制高校の「実践商業高等学校」を設立、翌昭和 26 年には全日制の「実践商業高等学校」を設立しました。建学の精神に「誠実にして社会に役立つ人間の育成」とうたわれています。星稜高等学校の建学の精神と同じです。さらに昭和 34 年に普通課程(普通科)を併設しました。その後、戦争後のいわゆるベビーブームと高校受験の一般化とに対応するために、「新しい時代に対応した新しい学校をつくりたい」と考えた稲置繁男理事長は、初代校長松田覚神先生と相談して昭和 37 年4月に「実践第二高等学校」を開校したのです。この学校が今日の星稜高等学校へと発展していくのです。

校旗と校歌

昭和 37 年 9 月 27 日校旗樹立式と校歌披露の会が行われました。校歌は、金沢大学教授藤田福夫氏作詞、橋本秀次氏作曲です。作詞にあたった藤田教授は「…第一連は学校の地理的位置を示すと共に大らかな気分で学問に励んでいたきたいと思ってできたものです。第二連は学校付近の自然的風物の最も特徴である「はす」を通して健康で温雅な人間性の養成とそれに伴う平和招来への理想を述べ…。第三連は北国の厳しい冬のように、また星の徽章の稜角のように強く正しい道を新発足の学園にしっかり植え付けていただくことを期待したものです。…」と述べています。はすは残念ですが現在学校近辺では見ることができません。エントランスの階段の円形の屋根は、実は「はす」の傘です。

星稜高等学校の誕生

昭和 38 年 9 月「実践第二高等学校」は「星稜高等学校」と改称しました。現在の校舎正面に初代校長松田覚神先生の胸像があります。校長は第一回入学式の訓示のなかで「第一に諸君は高校入学の真の目的をしっかりと考え勉強に全力をつくしてほしいと思う。諸君は勉学をするために本校に入学したはずである。諸君の知能のすべてをかたむけてこの三年間に高校生としての学力を十分に身につけなければならない。…又スポーツや文化方面にすぐれた才能を持った者はその恵まれた天分、才能を十分に伸ばそうではないか。…」と学校としてのあり方を指示しました。以後この言葉の通り、部活動の盛んな進学校としての発展を遂げるようになりました。今の 1 年は 64 期生です。卒業生は、37,087 名です。松田覚神初代校長の信条であった「五省」があります。これを易しく表現したものが、生徒手帳で目にしている「五つの誓い」です。6 階の冷水機のところに「額」が掛かっています。



2025 年
10 月 5 日(日)
星稜高等学校
創立 63 周年

五つの誓い

- 一、さわやかな挨拶をします
- 一、心身の鍛錬につとめます
- 一、すべての学習に最善を尽くします
- 一、責任のある行動に徹します
- 一、率先してよい環境をつくります



校名の由来と校章の意味

校名の「星稜」については当時の全生徒・教職員・PTAから募集した 800 余の中で最も多数の票を得たものです。他の校名として「旭丘」、「明倫」、「三稜」、「御所」、「明誠」などがあったそうです。校章の三つの稜(かど)が知・徳・体をそれぞれ象徴する、星の形から命名されたものです。



スクールカラーは「黄色」です。黄色は誠実を意味し、応援団の団旗や応援のメガホンなども黄色で統一されています。



星稜の歩み		
年度	校長	出来事
昭和37年	松田 覚神	実践第二高等学校開校
38年		校名を星稜高等学校と改称
39年		プール竣工
41年		第三校舎竣工
42年		校名を金沢経済大学付属星稜高等学校と改称
43年		武道館竣工
44年		グラウンド拡張
45年		第2体育館竣工
46年		校名を金沢経済大学星稜高等学校と改称
47年	稲置 敏夫	甲子園初出場
		新校舎1号館竣工
		県高校総体3冠達成（1回目）
48年		星稜中学創設
51年		夏の甲子園大会ベスト4
		第3体育館竣工
54年		夏の甲子園対箕島延長18回
55年		剣道場竣工
		明治神宮野球大会優勝
56年	土谷 敬成	情報処理科廃止
57年		商業科廃止
58年		校名を星稜高等学校と改称
		特別棟竣工
		野球場竣工
61年		県高校総体3冠達成（2回目）
63年	松田 外男	男子の指定帽子廃止
平成 元年		稲置記念館竣工
2年		トレーニングセンター竣工
3年		夏の甲子園大会ベスト4
		明治神宮野球大会2度目の優勝
		野球部国体準優勝
4年		総合運動場竣工
		野球部国体優勝
		海外語学研修開始
5年		指定カバンの廃止
6年		明治神宮野球大会準優勝
7年		夏の甲子園大会準優勝
	木坂 信	指定コートの廃止
8年		女子制服森英恵デザインに変更
		国公立大学医学部医学科3名合格
9年		弓道場竣工
		県高校総体3冠達成（3回目）
10年		県高校総体3冠達成（4回目）
12年	表 忍	県高校総体3冠達成（5回目）
13年		新校舎・新体育館竣工
14年	向 沖継	グラウンド竣工
		コース制導入
15年		県高校総体3冠達成（6回目）
		東大・京大現役合格
16年		2年連続東大現役合格
		トランポリン部全国選手権優勝
		サッカー部全国選手権大会3位
		運動部寮完成
17年		県高校総体3冠達成（7回目）
平成18年	羽賀 多聞	第2、第3体育館耐震工事
		国公立大学合格者数200名突破（204名）
		東大・京大現役合格
19年		県高校総体3冠達成（8回目）
		サッカー部全国高校総体準優勝
		トランポリン部全国選手権男子団体優勝
		男子シンクロ優勝・女子団体優勝
		第2運動部寮完成
		東大（3名）・京大（医学科）合格
20年		全国高校総体陸上競技走り幅跳優勝
		京大合格
		国公立大学医学部医学科4名合格
21年	干場 久男	県高校総体3冠達成（9回目）
22年		県高校総体3冠達成（10回目）
		東大・京大（2名）・一橋大現役合格
		国公立大学医学部医学科3名合格
		県高校総体3冠達成（11回目）
		京大・一橋大合格
		国公立大学医学部医学科3名合格
		トランポリン部全国選手権女子個人優勝
23年		男子シンクロ優勝・女子シンクロ優勝

星稜の歩み		
年度	校長	出来事
24年	干場 久男	県高校総体3冠達成（12回目）
		トランポリン部全国選手権女子団体優勝
		女子シンクロ優勝・男女個人優勝
		サッカー部全国選手権大会3位
		京大合格
		国公立大学医学部医学科3名合格
25年		トランポリン部全国選手権男子団体優勝
		女子団体準優勝・男女シンクロ優勝
		男子個人準優勝、3位
		県高校総体3冠達成（13回目）
		サッカー部全国選手権大会準優勝
		京大・金大（医学科）合格
26年		トランポリン部ユースオリンピック女子個人銀
		トランポリン部全国選手権男女団体優勝
		男女シンクロ優勝・男女個人優勝
		サッカー部全国選手権大会優勝
27年		女子制服新デザインに変更
		トランポリン部全国選手権男女団体優勝
		男女個人優勝
		サッカー部全国選手権大会3位
		東大合格
28年		トランポリン部全国選手権男子団体準優勝
		男女シンクロ準優勝
		全国高校文化連盟将棋新人大会2位
		全国高等学校将棋選手権大会3位
		東大・京大合格
		10年連続国立大学医学部医学科合格
29年	鍋谷 正二	中高一貫校として新たなスタート
		トランポリン部全国選手権男子団体優勝
		男子個人3位、女子個人2位
		全国高校総体陸上競技女子走幅跳2位
30年		トランポリン部全国選手権男子団体優勝
		男子シンクロ優勝・男子個人優勝
		全国高校総体陸上競技女子三段跳2位
		京大合格・国立大学医学部医学科2名合格
		明治神宮野球大会2度目の準優勝
		2年連続京大合格
		2年連続国立大学医学部医学科2名合格
		トランポリン部3年連続全国選手権男子団体優勝
		2年連続男子シンクロ優勝
		陸上競技部国体少年女子共通800m優勝
		夏の甲子園大会2度目の準優勝
		土曜特別講座GSPスタート
2年		1年生からタブレットPC貸与
		ICT教育の本格的スタート
		一貫理数コース一期生高校進学
		新型コロナ感染症拡大防止のため休校
		選抜高校野球大会・総体・総文中止
		A・Bコースに推薦入試導入
		3年連続国立大学医学部医学科2名合格
		一橋大合格
3年		トランポリン部全国選手権男子団体優勝
		女子団体準優勝・男子シンクロ優勝・男子個人準優勝
		東大合格
		4年連続国立大学医学部医学科4名合格
		GROW DORM(総合寮)竣工
4年		トランポリン部全国選手権団体(男女)優勝
		シンクロ(男女)優勝・個人(男女)優勝（6冠）
		京大2名合格
		5年連続国立大学医学部医学科3名合格
5年		トランポリン部全国選手権団体(男女)優勝
		シンクロ(女)優勝・個人(男)優勝（4冠）
		明治神宮野球大会3度目の優勝
		選抜高校野球大会ベスト4(県勢初)
		東大・京大合格
		6年連続国公立大学医学部医学科4名合格
6年		トランポリン部全国選手権男子団体優勝
		全国高校総体陸上競技男子100m2位
		U16陸上競技大会男子100m優勝
		7年連続国公立大学医学部医学科2名合格
7年		トランポリン部男子全国高校選手権3冠優勝
		陸上競技部全国高校総体100m、200m2冠優勝

